

まちの資源を活かした

豊かな住生活の実現に向けて

美浜町の住まい・まちづくり

喜田 祥子

美浜町では、住まい・まちづくりを総合的に推進するため、昨年度「美浜町住生活基本計画」を策定した。地域資源の有効活用を視点をあて、町職員によるまちの魅力の発掘・発信や、増えつつある空き家の活用方針について大学と連携して検討を始めるなど、施策の実現に向けた取り組みが進められている。

自然豊かで名古屋にもほど近いまち美浜町

美浜町は、知多半島の南部に位置し、人口は約二万三千五百人、面積は約四十六・四平方キロメートル、東西は海に面し、内陸部には緑豊かな里山を有する自然環境に恵まれたまちである。地区によっては、鎧囲いという独自の伝統的な様式でつくられた住宅が立ち並ぶ重厚なまちなみを見ることが出来る。名古屋へは鉄道で五十分の距離にあり、大都市の利便性を享受することも可能である。こうした点では、豊かな住生活を実現するのに適したまちと言える。

一方で、近年、若者が町外へ転出し、転入者が減少したことにより、人口のみならず世帯も減少している。また、空き家も増加しており、二〇〇八年度の住宅・土地統計調査によると、空き家率は十二・八%となっている。趣きある鎧囲いの住宅も放置されつつあるのが現状だ。

美浜町住生活基本計画の策定

魅力ある地域資源が十分に認識されず、住まい・まちづくりに活かされていない現状を踏まえて、美浜町では二〇一一年三月に「美浜町住生活基本計画」を策定した。この計画では、「地域資源の有効活用による豊かな住生活の実現」を基本理念に、「安心して住み続けられる住ま

い・まちづくり」「地域資源を活かした魅力ある住まい・まちづくり」「多様な主体との連携・協働による住まい・まちづくり」の三つを目標として掲げている。また、優先的かつ重点的に取り組むべきものとして、次の五つの重点プロジェクトを提案している。

- ① 既成市街地整備プロジェクト
骨格道路や生活道路、小公園の整備等を促進
- ② モデル町営住宅プロジェクト
建替えおよび西部地域への新規供給を検討
- ③ まちの魅力発信プロジェクト
魅力を広く発信し、定住や移住につなげる
- ④ 空き家活用プロジェクト
空き家を「地域資源」として捉え有効に活用
- ⑤ 多世代共生プロジェクト
まちの特徴を活かした新しい住まい方を検討

まちの魅力を発掘し、広く発信する

美浜町の美しい自然や伝統的な住宅様式のまちなみなどは、豊かな住環境を実現していく上でぜひ活かしていきたいまちの資源であるが、町民にとっては当たり前すぎて魅力と気付かないことが多い。一方で、町内への転入者は、「自然が豊かで子育てするには非常によい環境」「相互扶助の関係が残っている」という点に魅力を感じていることがわかった。そこ



合同ワーキングでは、町内にある空き家を実際に見学し、内部の間取りや周辺の状況を確認した。

で、定住や移住に繋げていくためにも、まちの魅力を掘り起こし、広く発信していくことが重要であると考え、まず、策定段階で組織された庁内ワーキングの若手職員が魅力を感じるものを各自で探し、写真にコメントを付けて町のホームページで紹介した。自らまちの魅力を発掘することでまちへの愛着も高まると考えられるので、今後の展開としては、町民と町職員による研究会の発足や移住体験記の公募など、町民を巻き込んだ取り組みに繋げていきたいところだ。

空き家活用を大学と連携し検討

昨年度計画が策定され、今年度からは施策を実現するための具体的な検討に入っているが、その一つの取り組みとして、町内にある日本福祉大学の児玉善郎研究室および吉村輝彦研究室の協力を得て、大学と町による合同ワーキングを開催した。検討テーマは、町内で増加する空き家の活用である。町職員と学生が一緒にまちを歩いて活用できそうな空き家を探し、活用アイデアやその手法を探った。昨年十二月に行われたワーキングでは、「空き家にあるかまどを活用して昔ながらの暮らしを子どもに体験してもらったらどうか」「地域の高齢者と郷土料理をつくり地域住民へ振る舞ったらどうか」といったアイデアが出された。まずは、一ヶ所において、一〜二日の短期間での

実験的な活用を目指している。

また、近年、自然豊かな土地で暮らしたい、農業をやりたいといった理由から田舎暮らしを希望する人が増え、移住後の住まい先に空き家が求められるようになってきた。町では、空き家の所有者と利用希望者をつなげる「空き家バンク制度」の創設に向けた検討を進めている。

おわりに

市町村が策定する住生活基本計画は、その地域の実情や、自然、歴史、文化などの特性に応じて、良好な住環境を形成

していくことが求められる。美浜町でも「美浜らしさ」をいかに提案・発信していくかが重要である。そのためには、元の組織や業者をうまく引き込んで一緒に取り組んでいく必要があるだろう。美浜町での取り組みはまだ始まったばかりだが、今後、美浜らしい住まい方に共感する人が増え、美浜町に住み続けたい、移り住みたいと思える住まい・まちづくりが進んでいくことを期待したい。新たな動きについては、このラバダブや弊社メールマガジンでご紹介していきたいと思う。



富具崎公園から望むまちなみ



鎧囲いのまちなみ



趣きある竹林の小路



昭和初期に建てられた旧野間郵便局



切山地区の田園風景



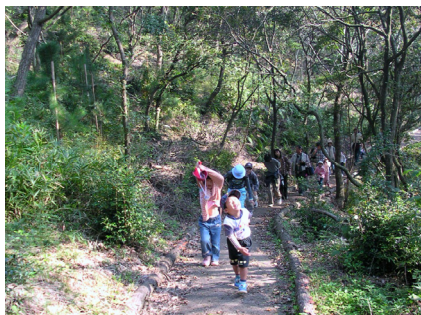
落ち着いた佇まいの路地



大学キャンパスのあるまち



昔ながらのコミュニティが残るまち



大自然を享受できる町民の森

※写真は美浜町住生活基本計画、美浜町ホームページ「まちの魅力紹介」より転載